

# 一般質問

5名の議員から5問の一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。



川村 明雄 議員

## 人口問題と在町外国人との交流は 受入事業者の協力を得て、交流拡大に

【川村明雄議員】

現在日本で暮らす在留外国人は264万人、東京都をはじめ全国に在留しているが、当町の技能実習生の国別男女別実態は？

実習生は、あらゆる職種に広がり、介護分野の需要も大きいのが当町の将来の姿は？

当町の将来を見据え、文化・観光・行事など各種パンフレットやホームページへの外国語併記を図ってはどうか？

各種対策について、町長・教育長のお考えを伺う。

【鳴海清春町長】

平成31年3月現在、ベトナム国籍28人（女性）・インドネシア国籍2人（男性）で、水産加工業・縫製業・漁業が受け入れ。当町の介護事業所では外国人技能実習生生活用の動きはないが、将来的には検討の余地がある。

外国語表記については、横綱・青函トンネル両記念館訪問の外国人観光客対応として少しずつ整備しており、今後も対応したいが、外国人技能実習生向けは現段階で考えていない。町民との交流については、新年交礼会や福島大神宮例大祭等で相互の文化に触れられる機会となっており、受入事業者の協力を得ながら、拡大に努める。

【前田勝広教育長】

議員と同認識であり、今後課題として整理してまいりたい。



平沼 昌平 議員

## 鳴海町政の総括と二期目に向けた取組は 全力を尽くし、二期目に新たな挑戦

【平沼昌平議員】

町長就任後、公約に掲げた課題解決策を事業化し、第5次総合計画前期実施計画に全力で取り組み、任期4年間を見事に有言実行されたと感じるが、計画を立案・実行して、それで完結するものではなく、町民にどのように評価され、改善するか、PDCAサイクルの道半ばであると考える。一期目4年間を総括し、総合計画後期計画に結び付けていくのが鳴海町政の責務と考えるが、町長の取り組み姿勢を伺う。

【鳴海清春町長】

選挙時に町民の皆様に掲げた選挙公約は、概ね手がけることができたと考えるが、町長の仕事は自ら評価すべきではなく、町民が判断すべきものであり、4年に一度の町長選挙において、その判断が下されると思う。

現在取り組んでいる、食べる昆布、蝦夷アワビの陸上養殖・岩部海岸クルージングの事業化推進、若者定住促進住宅の建設、新たな道の駅構想、第2青函トンネル構想の実現、第5次総合計画後期実施計画の取りまとめなど新たな課題も山積している。

与えられた任期を全力で尽くし、課題・目標を把握のうえ、町民・関係者等の声を聞き、2期目に向けた新たな挑戦をしたい。

## 教育2020年問題対策は

## 現状を踏まえ、各種対策に取り組む

【木村隆議員】

- ① 2020年度からの次期学習指導要領の対策を伺う。
- ② 2年の移行期間だが、今年度の外国語授業時間数は？
- ③ 外国語授業時間数は、どのように確保するのか？
- ④ A L T の外国語授業指導体制はどうなっているか？
- ⑤ 小学1・2年の英語に親しむ時間をどう作っているか？
- ⑥ All English の対策・方針は？
- ⑦ プログラミング教育移行期間の取り組みは？



木村 隆 議員

【前田勝広教育長】

- ① 1・2年生6時間、3・4年生37時間、5・6年生72時間を確保。
- ② 水曜日は、朝の自習、掃除、委員会活動をやめ、全体の授業時間数を短縮し、確保。
- ③ A L T は事前に担任と話し合い、担任の指示の下、児童に指導。
- ④ 英語の歌やゲーム、言葉遊びなどを通じた外国語活動となっている。
- ⑤ 実績をベースに、新年度も同様に取り組む予定で、All Englishへの取り組みは考えていない。
- ⑥ I C T 教育支援員を活用し、小学校では算数と理科の時間、中学校は技術の時間に実施。教員対象の講習会を実施しており、新年度も授業力の向上に取り組みたい。

## 財政運営の基本的な考えは

## 収支バランス重視の政策へ徐々に転換

【熊野茂夫議員】

次年度が第5次総合計画前期実施計画の最終年になるが、前期は積極的に各種施策を講じ、この間、平成27年度と平成29年度では、交付税収入が2億円減少し、今後も減少傾向が続くと考える。また、財政調整基金も平成29年度末では15億円となり、財源の減少を心配する。

この1年で後期実施計画をまとめ上げることになるが、大型事業や継続事業など、実施計画策定に向けて財政運営をどのようにお考えか、基本的姿勢を伺う。



熊野 茂夫 議員

【鳴海清春町長】

私は、就任以来、人口減少を少しでも緩やかにする政策的事業に重点的に一般財源を投入し、様々な施策を実施し、それぞれ成果につながったと思慮する。

後期実施計画に向けては、計画精度の向上を図り、継続事業の再検証と各種事業の優先度や実施時期を見極めることが重要と考える。

毎年の公債費償還元金を基本ベースとし、起債借入額をそれ以内に抑え、地方債残高の抑制を図り、政策的事業の見直しや予算を縮小し一般財源を圧縮、財政収支バランス重視の政策に徐々に方向転換していく。今後実施する事業の財源については、有利な起債の活用などにより健全財政運営に努める。

# 一般質問

詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。



佐藤 孝男 議員

## 福祉センターの耐震化改修を 後期実施計画で方向性を

【佐藤孝男議員】  
平成26年度に福祉センターは耐震基準に満たない施設と診断された。  
今回の教育執行方針では、総合計画後期実施計画で施設の改修等の基本方針を整理することのことだが、1年でも早く改修をするべきと思うが如何か。  
高齢者などが2階に行く際に階段の利用が大変だとの声があり、エレベーターの設置が望まれているが、この点についても伺う。

【鳴海清春町長】  
福祉センターの耐震化・町民要望のあるエレベーターの設置については、多額の費用が見込まれ、早期に実施する考えはない。  
福祉センターのあり方については、大規模改修や再整備等も視野に入れながら検討が必要であり、後期実施計画の中で方向性をまとめたい。

【前田勝広教育長】  
総合計画後期実施計画の策定作業がスタートする、教育委員会としては、福祉センターも含めた建物の長寿命化計画に向けた調査委託事業により、計画書を取りまとめて行く段階で、今後の大規模改修や再整備等の基本方針を整理したい。

## 議会事務局新職員 の紹介

4/1付人事異動がありましたので紹介いたします。



福井 係長



中島 主査

～精一杯がんばります～

## 議会ホームページから

ライブ中継・過去の会議映像が視聴できます！

<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

議会ホームページより議会のライブ中継や過去の会議映像が視聴できます。

上記のURLからアクセスし、ご覧ください。

ホームページをご覧になり、ご感想、ご意見がございましたら下記のメールアドレスにお願いいたします。

○議会メールアドレス

[gikai@town.fukushima.hokkaido.jp](mailto:gikai@town.fukushima.hokkaido.jp)